

日本に定住を希望する外国人住民が
高齢期に向けて備える「ライフプラン」に
必要な日本語教育実践プログラム
実践報告



平成26年8月29日（金）実践事例報告

群馬大学 結城 恵

（群馬大学本事業 企画・運営責任者）

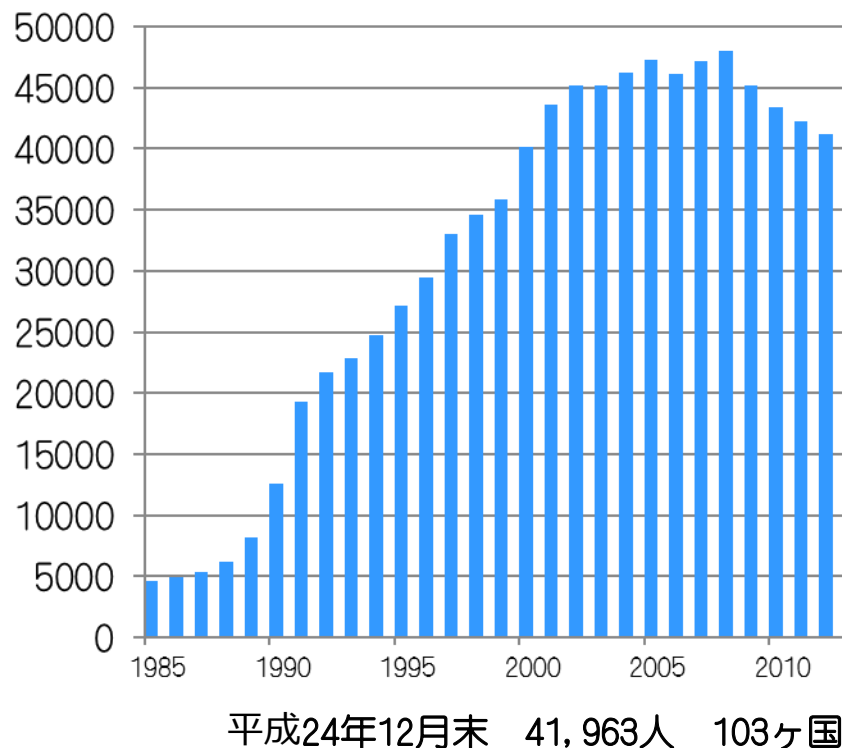
1. 事業の目的

生活者としての外国人に対して、
日本に定住し高齡期を迎える前に必要となる
日本での「ライフプラン」を構想するのに必要な
日本語教育を実施する。

2. 事業の背景

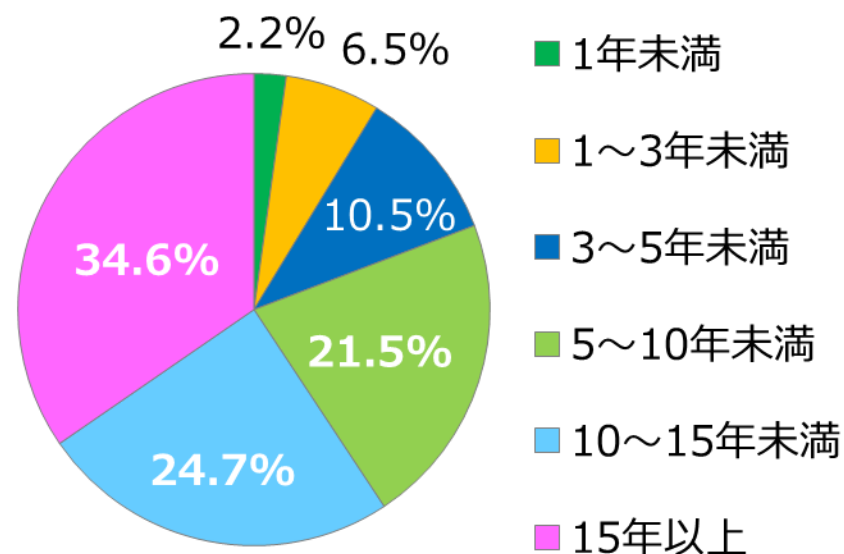
群馬県の在留外国人数の推移

出典：法務省在留外国人統計。



平成22年群馬県定住外国人実態調査

(群馬県調べ)



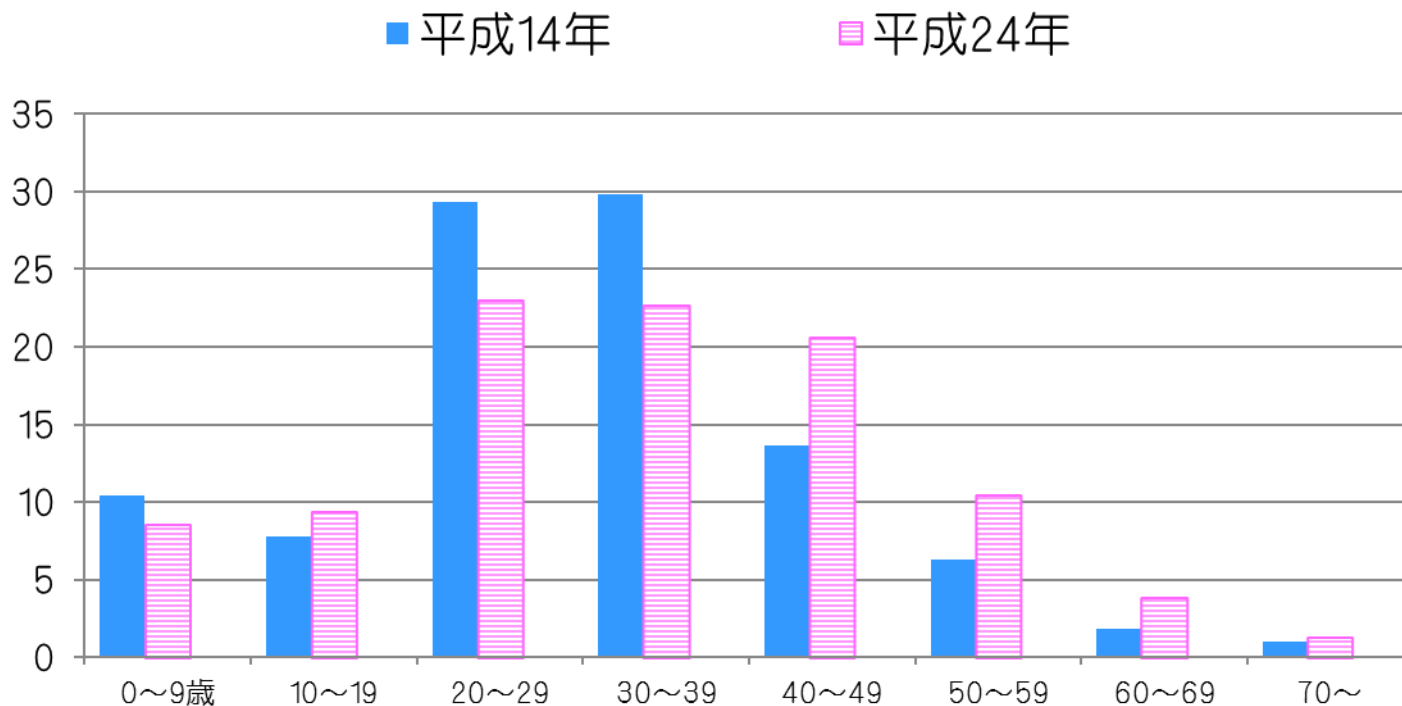
5年以上滞在者

67.9% (H18年) → 80.8% (H22年)

在留外国人数は増加。在留期間は長期化。

2. 事業の背景

群馬県の外国人住民の年齢別人数割合の比較



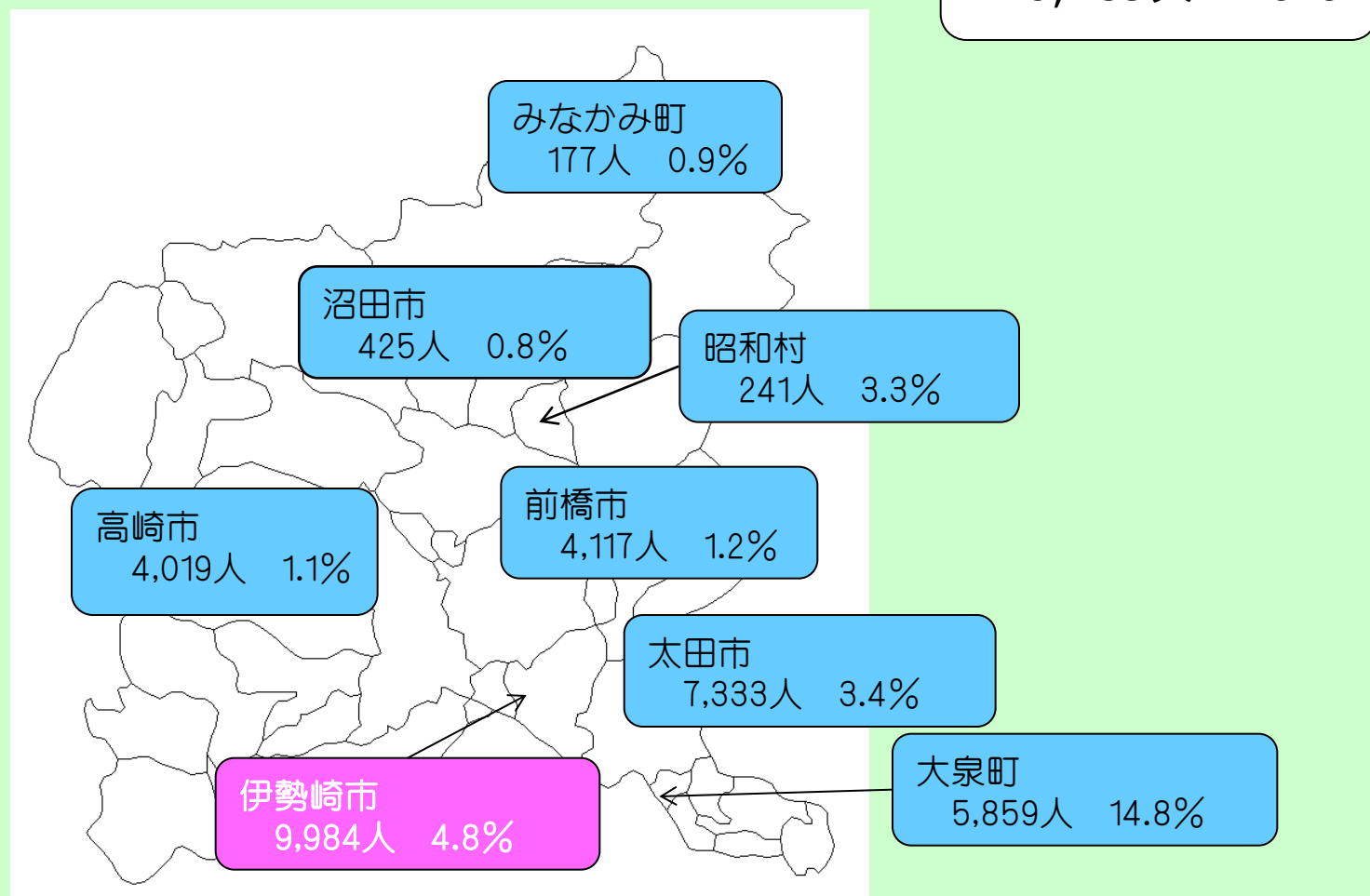
出典：法務省在留外国人統計

50歳以上外国人住民数は 9.1% (H14年) → 15.7% (H24年)

在留期間の長期化に伴い、高齢化も徐々に進行

2. 事業の背景

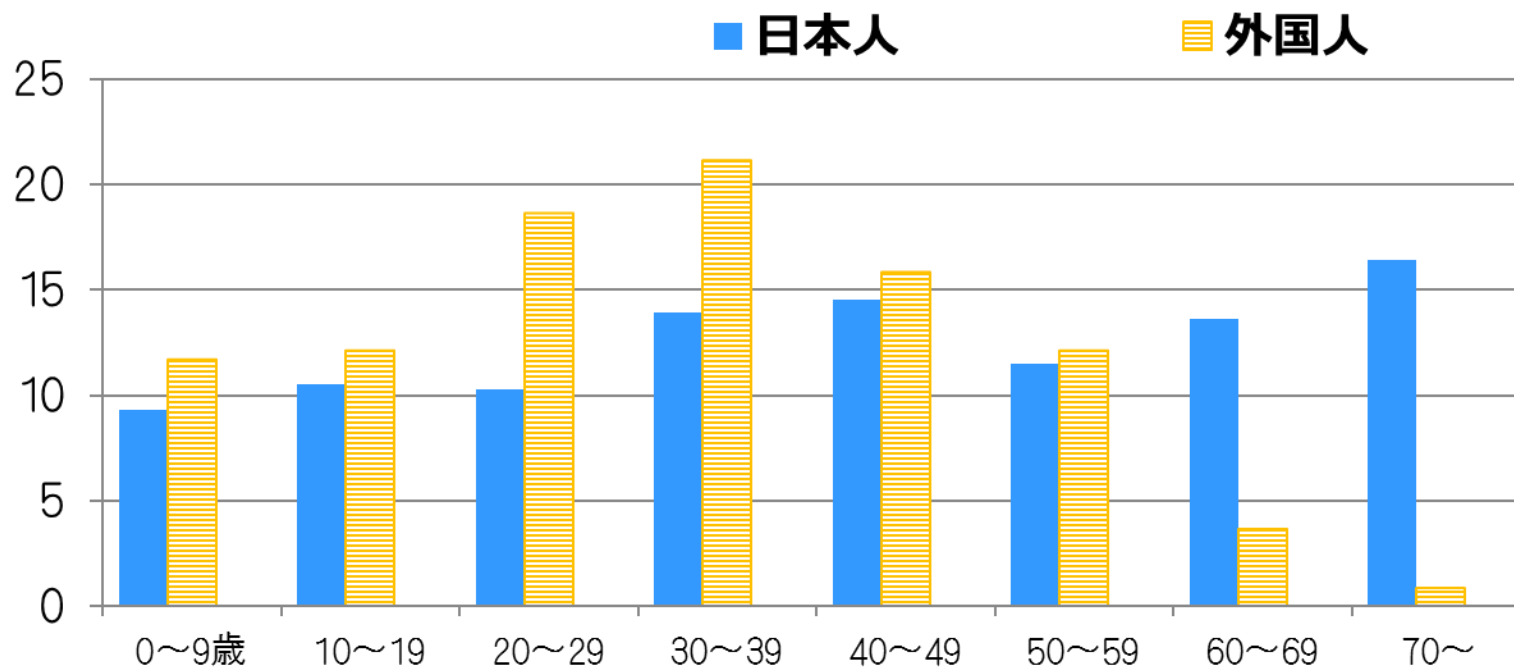
各地域の外国人の状況(2012年末)



(群馬県調べ)

2. 事業の背景

伊勢崎市の外国人住民の年齢別人数割合の比較 (H25.12現在)



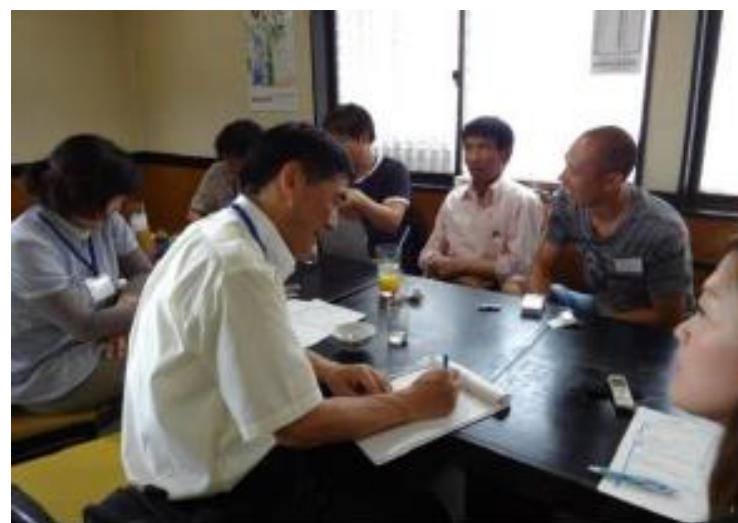
出典：伊勢崎市統計調査

50歳以上外国人住民数は1,619人、16.7%。県平均よりも高い。

3. 事業の内容

1. 群馬で高齢期を迎える 備えに関する実態調査

フィリピン・ベトナム・ペルー
コミュニティで実施



3. 事業の内容

2. 活動内容

- ① **マネープラン**（暮らしを守る「保険」、老後に備える「年金」、私たちの身近な「税金」、「金融機関」の利用の仕方）、
- ② **ケアプラン**（「生活習慣」を見直す、「介護保険」を知る・利用する）、
- ③ **地域交流プラン**（「弓道」を体験し、弓道の「ことば」と「動作」の学びを契機に、地元の弓道愛好団体と交流する。）

4. 実施体制

群馬大学・群馬県
「多文化共生推進士」養成ユニット
○ライフプラン専門家
○日本語教室コーディネーター

連
携

群馬大学
国際教育・研究センター
(日本語教育専門家)

日本語指導ボランティアの養成

日本語教材の作成

日本語教室の実施

4. 実施体制

群馬大学・群馬県「多文化共生推進士」養成ユニット



ファイナンシャル・プランナー
(CFP®認定者)
日本FP協会群馬支部副支部長



ななせ社会福祉事務所長
社会福祉士



合同会社ピア・サポート代表
介護福祉士



群馬県弓道連盟所属
弓道五段
日本語講師



渋川市社会福祉協議会
社会福祉士

4. 実施体制

運営委員会

群馬県・伊勢崎市・伊勢崎国際交流協会
日本語・国際交流等NPO関係者・
群馬ファイナンシャルプランナー協会・
社会福祉・介護事業所関係者 及び 群馬大学関係者



5. 活動報告

定住外国人が安心して高齢期を迎えるために…



5. 活動報告

日本語教材の作成

1. ヒアリング調査に基づく対象者イメージを共有する
2. ニーズに基づく日本語教室の内容を検討する
3. ニーズに基づく学習教材を作成する



5. 活動報告

日本語指導ボランティアの養成

1. ヒアリング調査に基づく対象者イメージを共有する
2. 日本語教室の目的の共有する
3. 日本語教室の内容・方法を協働で作る



5. 活動報告

日本語教室の実施

1. ライフプランをデザインする

将来、
自分自身や家族
どんなことが起こり、
どんな準備をしたら
いいのだろうか。



5. 活動報告

2. マネープラン



ほけんしょうが ありません → びょういん・くすりのおかね 100%

けんこうほけんしょう（健康保険証）（Health Insurance ID Card）があるひとは、まいつき おかねを すこしずつ はらいます。
びょうきのとき、びょういんや くすりに はらうおかねは 30% です。

5. 活動報告

3. ケアプラン



5. 活動報告

3. ケアプラン



5. 活動報告

4. 地域交流プラン

弓道体験を通じて日本文化に触れ、
地域交流に役立てる



6. 成果と課題



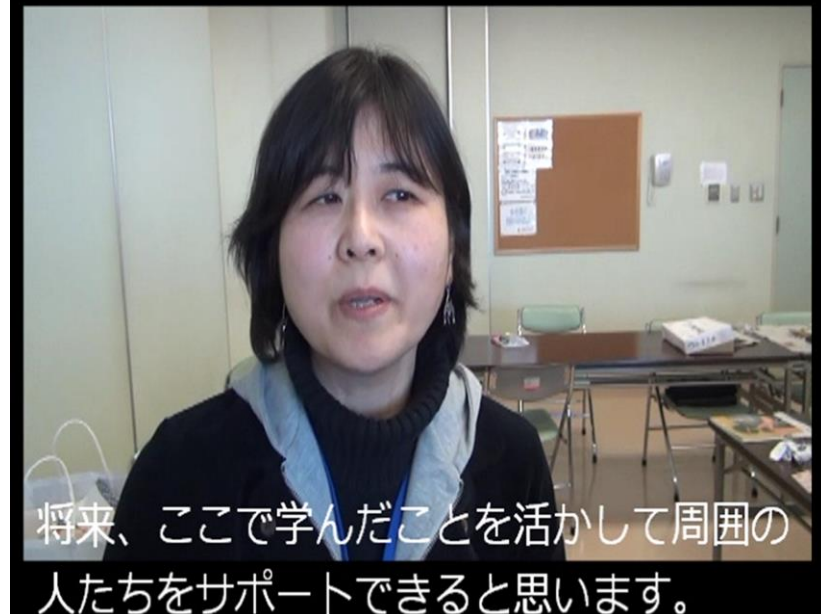
また、高齢になっても安心して、質の良い生活を送るために、



自分の目標を立て、よく考えて頑張らないといけないと感じました。



将来の介護や老後に備えて、情報提供をしてくれる教室があれば助かります。



将来、ここで学んだことを活かして周囲の人たちをサポートできると思います。

日本に定住を希望する外国人住民が高齢期に向けて備える 「ライフプラン」に必要な日本語教育実践プログラム



1. 相互で理解し合い知恵を出し合う

2. 正確な知識をわかりやすく伝える

日本に定住を希望する外国人住民が高齢期に向けて備える 「ライフプラン」に必要な日本語教育実践プログラム



日本語を教える

日本語で教える

日本語があとからついてくる